メッセージ　9柱と発光体

聖書：啓 3:7-13.　ピリピ 2:12-16

柱

啓 3:7　ヒラデルヒヤに在る召会の使者に書き送りなさい.『聖なる者、真実なる者、ダビデのかぎを持つ者、開けばだれも閉じることはなく、閉じればだれも開くことのない者が、こう言われる.

啓 3:8　わたしはあなたのわざを知っている. 見よ、わたしはあなたの前に、だれも閉じることのできない門を開いておいた. なぜなら、あなたは少しばかりの力を持っていて、わたしの言を守り、わたしの名を否まなかったからである。

啓 3:9 見よ、サタンの会堂の者で、ユダヤ人と自称しているが、実はそうではなく偽る者たちに、わたしはこうしよう. 見よ、わたしは、彼らがあなたの足もとに来てひれ伏すようにし、わたしがあなたを愛してきたことを知らせる。

啓 3:10 あなたはわたしの忍耐についての言を守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試すために人の住む全地に臨もうとしている試練の時から、あなたを守る。

啓 3:11 わたしはすぐに来る. だれもあなたの冠を奪うことがないように、自分の持っているものをしっかりと保っていなさい。

啓 3:12 勝利を得る者を、わたしの神の宮の柱にしよう. 彼はもはや決して外に出ることはない. わたしはまた彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち天から出て、わたしの神から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記そう。

啓 3:13 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい』。

発光体

ピリピ 2:12 そういうわけで、わたしの愛する人たちよ、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、わたしがいない今はなおさら、恐れとおののきをもって、あなたがた自身の救いを成し遂げなさい.

ピリピ 2:13 なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです。

ピリピ 2:14 すべての事を、つぶやいたり議論したりすることなく行ないなさい.

ピリピ 2:15 それは、あなたがたが、曲がったよこしまな世代のただ中で、責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなり、彼らの間で世にあって発光体のように輝き、

ピリピ 2:16 命の言を提供するためです. こうして、わたしが無駄に走ったのでも無駄に労苦したのでもないことを、キリストの日に誇ることができるのです。

第9編　柱と発光体

Ⅰ	柱となるために、 ヒラデルヒヤの道を取る （高嶺の真理、神・人の生活、神にしたがった牧養）	A	ヒラデルヒヤにおける勝利を得る信者は真理の柱
		B	ヒラデルヒヤにおける勝利を得る信者は「この務め」をしっかりと保つ
		C～E	ヒラデルヒヤの勝利者の特徴：新しい復興の三方面
		F	ヒラデルヒヤの道は、キリストが召会を牧養する道
Ⅱ	発光体のように輝き、 命の言を提供する	A	信者は発光体のように命の言を提供する
		B～D	わたしたちの内にある四方面の神聖な供給
		E	二方面の妨げ：つぶやきと議論
		F	つぶやきと議論から救われる道

第9編　柱と発光体

日付	段落	思路	主題	要点
D1	柱		ヒラデルヒヤの勝利者は柱であり、この務めをしっかりと保つ	ヒラデルヒヤの勝利者は真理の柱
				ヒラデルヒヤの勝利者はこの務めをしっかりと保つ
D2			新約の唯一の務めをしっかりと保ち、成就されて柱となる	新約の唯一の務めをしっかりと保つ
				成就されて柱となる道
D3			神聖な啓示の最高峰に到達する	少しばかりの力を持ち、主の言を守る
				わたしの神の宮の柱にしよう
D4			神・人の生活をし、神にしたがって牧養する	主の言を守り、主の名を否まない
				兄弟相愛によって神にしたがって牧養する
D5	発光体		神聖な供給を経験して発光体となる	信者は発光体のように命の言を提供する
				四方面の神聖な供給を経験する
D6			発光体となる道	二方面の妨げ―つぶやきと議論
				つぶやきと議論から救われる道

柱となるためにヒラデルヒヤの道を取る

Ⅰ. わたしたちは三一の神の中の柱となるために、召会のために神の定められた道、すなわち、ヒラデルヒヤの道を取らなければなりません。回復の召会(ヒラデルヒヤに在る召会によって表徴されている)だけが、神の永遠の定められた御旨を成就し、彼の心の願いを満たすことができます―啓 3:7-13. 参照、21:22:

啓 21:22 わたしはその中に宮を見なかった. 主なる神、全能者と小羊が、その宮だからであ

ヒラデルヒヤにおける勝利を得る信者は、真理の柱です

A. ヒラデルヒヤにおける勝利を得る信者は、柱であり、現にある真理を知っており、真理の絶対性を維持し、真理の柱また基礎としての召会のために真理で構成されています―Ⅱペテロ 1:12. Ⅰテモテ 3:15-16。

Ⅱペテ 1:12　こういうわけで、あなたがたはこれらの事柄を知っており、また現にある真理の中で堅固にされているのですが、わたしは常にこれらの事柄を、あなたがたに思い起こさせようとしているのです。

Ⅰテモ 3:15　それは、もしわたしが遅れた場合、神の家の中でどのように振る舞うべきかを、あなたに知ってもらうためです. 神の家とは生ける神の召会であって、真理の柱また基礎です。

Ⅰテモ 3:16　そして確かに、偉大なのは敬虔の奥義です. この方は肉体において現され、霊において義とされ、御使いたちに見られ、諸国民の間に宣べ伝えられ、世の人の中で信じられ、栄光のうちに上げられた。

ヒラデルヒヤにおける勝利を得る信者は、「この務め」をしっかりと保ちます

B. ヒラデルヒヤにおける勝利を得る信者は、自分の持っているものをしっかりと保ちます。彼らが持っているものは、「この務め」、すなわち、新約の唯一の務めです。実は、主の回復はわたしたちを新約の唯一の務めへと連れ戻すことです―啓 3:11. Ⅱコリント 4:1:

啓 3:11　わたしはすぐに来る. だれもあなたの冠を奪うことがないように、自分の持っているものをしっかりと保っていなさい。

Ⅱコリ 4:1　こういうわけで、わたしたちはあわれみを得て、この務めを受けたのですから、落胆しません.

その霊の務め――神聖な啓示の最高峰

1. **その霊の務め**は、新契約の務めであり、神聖で奥義的な「インク」である生ける神の霊をもってわたしたちの心に書き記すことによってわたしたちを神化し、わたしたちを**キリストの生ける手紙**とならせます。これは神聖な啓示の最高峰です―3:3，6，8，18．4:1．参照、啓 2:7 後半．22:17 前半。

IIコリ 3:3　あなたがたは、わたしたちが務めをすることによって書き記されたキリストの手紙であって、それもインクによってではなく生ける神の霊で書かれ、石の板にではなく心という肉の板に書き記された手紙であることが、明らかにされているのです。

IIコリ 3:6　神はまたわたしたちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました．それは、文字ではなく、霊の奉仕者です．なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。

IIコリ 3:8 ましてその霊の務めは、栄光の中にないわけがありましょうか？

IIコリ 3:18 しかし、わたしたちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

啓 2:7　耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう』。

啓 22:17 その霊と花嫁が言う、「来たりませ！」。聞く者も「来たりませ！」と言いなさい。渇いている者は来たれ．欲しい者は、命の水を値なしに飲むがよい」。

義とする務め――神・人の生活

2. **義とする務め**は、キリストの務めです。彼はわたしたちの客観的な義であり、わたしたちを義とします。また彼はわたしたちの主観的な義であり、その霊の造り変える働きによってわたしたちの中へと「刺(し)繍(しゅう)」され、神の有機的な救いにおいてキリストを生かし出させ、キリストの真の表現とならせます。これは神・人の生活です―Ⅱコリント 3:9. 詩 45:1, 13-14. ローマ 5:10。

IIコリ 3:9 罪定めする務めに栄光があるなら、まして義とする務めは、なおさら栄光にあふれるのです。

詩 45:1　わたしの心は美しい言葉であふれています．わたしは王について、わたしが作ったものを語ります。わたしの舌は、速やかに物書く人の筆です。

詩 45:13　王の娘は王の住まいの内にいて栄光を極め、彼女の衣は織った物であり、金が織り込まれています。

詩 45:14　彼女は刺繍された着物を着て王の所に導かれ、彼女の背後のおとめたちも、彼女の付き添いたちも、あなたにもたらされます。

ローマ 5:10　というのは、わたしたちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われるからです．

和解の務め――神にしたがって人々を牧養する

3. **和解の務めは**、罪の赦しを通して世の人をキリストへと和解させる務めであって、彼らに法理的な贖いを得させます。また信者たちをキリストへと和解させる務めであって、彼らを霊の中で、すなわち至聖所の中で生きる人とならせて、彼らに有機的な救いを得させます。これは神にしたがって人々を牧養することです― Ⅱコリント 5:18-21. Ⅰペテロ 5:1-4。

IIコリ 5:18 これらすべてのものは、神から出ています．彼はキリストを通して、わたしたちをご自身に和解させ、その和解の務めを、わたしたちに与えてくださいました．

IIコリ 5:19 すなわち、神はキリストにあって、世の人をご自身に和解させ、彼らに対して彼らの違犯を数えないで、和解の言をわたしたちに託されたのです。

IIコリ 5:20 ですから、わたしたちはキリストのために大使であり、いわば神がわたしたちを通して、あなたがたに懇請しておられるのです．わたしたちはキリストに代わって、あなたがたに懇願します．神に和解させられなさい。
IIコリ 5:21 神は罪を知らなかった方を、わたしたちに代わって罪とされました．それは、わたしたちが彼の中で神の義となるためです。
Ⅰペテ 5:1 こういうわけで、わたしは同じ長老仲間であり、キリストの苦難の証し人として、また現されようとする栄光にあずかる者として、あなたがたの間の長老たちに勧めます．
Ⅰペテ 5:2 あなたがたの間の神の群れを牧養しなさい．強いられてではなく、自ら進んで、神にしたがって監督し、卑しい手段で利得を求めることによってではなく、熱心に監督しなさい．
Ⅰペテ 5:3 また割り当てられた人たちの上に、権力を振るうのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。
Ⅰペテ 5:4 そうすれば、牧者の長が現れる時、あなたがたは、しぼむことのない栄光の冠を受けます。

4. 成就されて柱となる道は、この務めをしっかりと保ち、神のエコノミーの積極的な内容を食物とし、主の頭首権の下で主の行動の現在の流れの中にとどまって、死と分裂から離れ去ることによります—Ⅱテモテ 3:10．Ⅰテモテ 4:15．ローマ 8:6．16:17．Ⅰヨハネ 2:18-20．Ⅰコリント 11:19．民 16:3, 7。

IIテモ 3:10 しかし、あなたはわたしの教え、振る舞い、決意、信仰、辛抱強さ、愛、忍耐に緊密に従い、
Ⅰテモ 4:15 それらの事を実行しなさい．それらに身を入れなさい．そうすれば、あなたの進歩がすべての人に明らかになるでしょう。
ローマ 8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。
ローマ 16:17 さて兄弟たちよ、わたしはあなたがたに勧めます．あなたがたが学んできた教えに反して、分裂やつまずきの原因を作る者たちを警戒し、また彼らから離れ去りなさい。
Ⅰヨハ 2:18 幼い子供たちよ、今は終わりの時です．反キリストの者が来るとあなたがたが聞いていたように、今でも多くの反キリストが来ています．それによって、終わりの時であることを知るのです。
Ⅰヨハ 2:19 彼らはわたしたちから出て行きましたが、実はわたしたちのものではなかったのです．もし彼らがわたしたちのものであったなら、わたしたちと共にとどまっていたでしょう．しかし、彼らが出て行ったのは、彼らがすべてわたしたちのものでないことが、明らかになるためです。
Ⅰヨハ 2:20 あなたがたは聖なる方から油塗りを受けているので、あなたがたすべては知っています。
Ⅰコリ 11:19 あなたがたの間に良しと認められた人たちが明らかになるためには、あなたがたの間に派別もなければならないでしょう。
民 16:3 彼らは集まってモーセとアロンに逆らって言った、「あなたがたは分を越えています．全集団はことごとく聖なるものであって、エホバが彼らの間におられるのです。どうしてあなたがたは、エホバの会衆の上に自らを高く上げるのですか？」。
民 16:7 明日、エホバの御前でその中に火を入れ、その上に香を盛りなさい．
エホバが選ばれるその人が、聖なるものである。レビの子たちよ、あなたがたこそ分を越えている！」。

C-E:ヒラデルヒヤの勝利者の特徴:新しい復興の三方面

神聖な啓示の最高峰

C. ヒラデルヒヤにおける勝利者の特徴は、彼らが神のエコノミーの神聖な啓示の最高峰に到達することです：

1. アジアにある一つの召会は独特であり、主によって大いに称賛されました。それはヒラデルヒヤに在る召会です。主が彼らを評価したのは、彼らが主の言葉を守ったからです。それが意味するのは、彼らが使徒たちの教えの言葉、神のエコノミーの健康な教え、神聖な啓示の最高峰から離れ去らなかったということです

—啓 3:8. Ⅱテモテ 3:16-17. Ⅰテモテ 1:3-4。

啓 3:8　わたしはあなたのわざを知っている．見よ、わたしはあなたの前に、だれも閉じることのできない門を開いておいた．なぜなら、あなたは少しばかりの力を持っていて、わたしの言を守り、わたしの名を否まなかったからである。

Ⅱテモ 3:16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります.

Ⅱテモ 3:17 それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。

Ⅰテモ 1:3 わたしがマケドニアへ出発する時あなたに勧めたように、あなたはエペソにとどまっていて、ある人たちが異なる事を教えたり、

Ⅰテモ 1:4 作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい．そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミー［経綸］ではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。

2. 勝利者が宮の柱となるとは、彼らが三一の神の中で柱となることを意味します。なぜなら宮は、「主なる神、全能者と小羊」であるからです。神は彼らの中へと建造されており、彼らを生ける尊い石とします。彼らは神の中へと建造されており、神の中の石の柱となり、神と合併されて、神と人の相互の住まいとなります— 啓 3:12 前半. 21:22, 3. 詩 90:1. ヨハネ 14:23. 参照、列王上 7:15-22。

啓 3:12　勝利を得る者を、わたしの神の宮の柱にしよう．彼はもはや決して外に出ることはない．わたしはまた彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち天から出て、わたしの神から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記そう。

啓 21:22 わたしはその中に宮を見なかった．主なる神、全能者と小羊が、その宮だからである。

啓 21:3　そして、御座から大きな声がこう言うのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にある．神は彼らと共に幕屋を張り、彼らは神の民となり、神自ら彼らと共にいて、彼らの神となる。

詩 90:1　主よ、あなたはすべての世代にわたって、わたしたちの住まいです。

ヨハネ 14:23 イエスは彼に答えて言われた、「だれでもわたしを愛する者は、わたしの言を守る．そしてわたしの父は彼を愛され、わたしたちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る。

列王上 7:15 彼は青銅の柱二本を鋳造した．それぞれの柱の高さは十八キュビトであり、それぞれの柱の周囲はひもで測って十二キュビトであった。

列王上 7:16 彼は鋳た青銅で柱頭二つを作り、柱の頂に据えた．一つの柱頭の高さは五キュビト、もう一つの柱頭の高さも五キュビトであった。

列王上 7:17 柱の頂にある柱頭のために、格子細工の網と鎖細工の飾りひもが、一つの柱頭に七つ、もう一つの柱頭に七つあった。

列王上 7:18 こうして、彼は柱を作った．一つの網細工の周囲にざくろ二列があり、柱の頂にある柱頭を覆っていた。彼はもう一つの柱頭にも同じようにした。

列王上 7:19 廊の柱の頂にある柱頭はゆりの花の細工であって、高さは四キュビトであった。

列王上 7:20 二本の柱の上にある柱頭は、網細工のそばにある丸い突出部の上にあり、近く

にあった。また二百のざくろが、それぞれの柱頭の周りに列になっていた。
列王上 7:21 彼はその柱を宮の廊に立てた。彼は右の柱を立てて、その名をヤキンと呼び、左の柱を立てて、その名をボアズと呼んだ。
列王上 7:22 その柱の頂にはゆりの花の細工があった。こうして、その柱の造作は完成した。

3. 神の御名、新しいエルサレムの名、主の新しい御名が勝利者の上に書き記されていることが示しているのは、神が何であるか、新エルサレムの性質、主のパースンがすべて彼らの中へと造り込まれており、彼らを三一の神と標示し、彼らを神格においてではなく、命と性質において神とするということです—啓 3:12 後半. 22:4 後半。
啓 22:4　そして彼らは彼の御顔を見る．また彼の御名が彼らの額にある。

神・人の生活
D. ヒラデルヒヤにおける勝利者の特徴は、彼らがキリストの豊富を享受することによって、神・人の生活をすることです—3:7. イザヤ 22:15, 20-24:
啓 3:7　ヒラデルヒヤに在る召会の使者に書き送りなさい．『聖なる者、真実なる者、ダビデのかぎを持つ者、開けばだれも閉じることはなく、閉じればだれも開くことのない者が、こう言われる．
イザヤ 22:15　主・万軍のエホバはこう言われる、「さあ、王の家をつかさどるこの執事、セブナの所に行って言いなさい、
イザヤ 22:20　その日、わたしは、わたしのしもべ、ヒルキヤの子エリアキムを召し、
イザヤ 22:21　あなたの長服を彼に着せ、あなたの飾り帯を彼に締めさせ、あなたの主権を彼の手に置く．彼はエルサレムの住民とユダの家の父となる。
イザヤ 22:22　わたしはダビデの家のかぎを彼の肩に置く．彼が開けば、だれも閉じることはなく、彼が閉じれば、だれも開くことはない。
イザヤ 22:23　わたしは彼を釘として、確かな場所に打ち込む．彼はその父の家のために栄光の座となる。
イザヤ 22:24　父の家のすべての栄光、末とそこから出たもの、すべての最も小さい器、すなわち鉢からすべての壷までを、人々は彼の上にかける。

1. ヒラデルヒヤにおける勝利者は、少しばかりの力を持っています。これが示しているのは、主を喜ばせることは、わたしたちが彼のために多く行なうことではなく、わたしたちが持っているものをもって彼のために最善を尽くすことであるということです—啓 3:8. Ⅱコリント 12:7-10. マルコ 14:8。
啓 3:8　わたしはあなたのわざを知っている．見よ、わたしはあなたの前に、だれも閉じることのできない門を開いておいた．なぜなら、あなたは少しばかりの力を持っていて、わたしの言を守り、わたしの名を否まなかったからである。
Ⅱコリ 12:7　そして、その啓示があまりにもすばらしいために、わたしが高ぶり過ぎないようにと、肉体に一つのとげが与えられました．それは、わたしが高ぶり過ぎないように、わたしを打つためのサタンの使いなのです。
Ⅱコリ 12:8　これについてわたしは、それが取り去られるようにと、三度も主に懇願しました。
Ⅱコリ 12:9　すると彼はわたしに言われました、「わたしの恵みは、あなたに対して十分である．わたしの力は、弱さにおいて完全に現れる」。ですから、わたしはむしろ自分の弱さを、大いに喜んで誇りましょう．それはキリストの力が、わたしの上に幕屋を張るためです。
Ⅱコリ 12:10　こういうわけで、わたしはキリストのために、弱さの中で、侮辱の中で、

貧困の中で、迫害と苦悩の中で、十分に喜んでいます．なぜなら、わたしは弱い時にこそ、強いからです。

マルコ 14:8　　彼女はできる限りのことをした．葬りのために、わたしの体に前もって油を塗ってくれたのだ。

2. ヒラデルヒヤにおける勝利者は、主の言葉を守り、愛します。それは彼らにとって「幾千の金や銀にも」まさるのです（啓 3:8. 詩 119:72, 140）。彼が神の息吹かれた聖書を受け取るのは、すべての祈りによって神の息を持つ神の人となることによってであり、また神のエコノミーの健康な教えにとどまることによってです

（エペソ 6:17-18．Ⅱテモテ 3:14-17．参照、Ⅰテモテ 6:3-4）。

詩 119:72 あなたの口の律法は、わたしにとって幾千の金や銀にもまさるのです。

詩 119:140 あなたの言葉は精錬されており、あなたのしもべはそれを愛します。

エペソ 6:17 また救いのかぶとを受け取りなさい．さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、

エペソ 6:18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい．どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい．

Ⅱテモ 3:14 しかし、あなたは学んで確信している事柄の中にとどまっていなさい．あなたはそれをだれから学んだか知っており、

Ⅱテモ 3:15 また幼い時から聖なる書に親しんできたことを、知っているからです．この聖なる書はあなたに、キリスト・イエスにある信仰を通して、救いへと至る知恵を得させることができるのです。

Ⅱテモ 3:16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります．

Ⅱテモ 3:17 それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。

Ⅰテモ 6:3 もし異なったことを教えて、健康な言であるわたしたちの主イエス・キリストの言にも、敬虔に合う教えにも同意しない者がいるなら、

Ⅰテモ 6:4 彼は高ぶりによって盲目になっており、何も理解せず、論議と言い争いに病みつきになっているのです．そこから、ねたみ、争い、そしり、邪悪なさい疑心が生じ、

3. ヒラデルヒヤにおける勝利者は、主の御名を否みません（啓 3:8）。彼らは主イエス・キリストの御名以外のすべての名を放棄します。彼らは主の御名を呼び求めて、彼の豊富を受け入れ（ローマ 10:9-10, 12-13）、イエス・キリストは主であると公に言い表して、父なる神の栄光となります（ピリピ 2:11）。

ローマ 10:9　　すなわち、あなたが自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神は彼を死人の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われます．

ローマ 10:10　　なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです。

ローマ 10:12　　ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません．同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです．

ローマ 10:13　　なぜなら、「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」からです。

ピリピ 2:11　　そしてあらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と公に言い表して、父なる神の栄光となるためです。

神にしたがった牧養

E. ヒラデルヒヤにおける勝利者の特徴は、彼らの兄弟愛です。彼らの間で愛はまさっており、彼らは神にしたがって、すなわち父なる神の愛し赦す心と、救い主キリストの牧養し捜し求める霊にしたがって人々を牧養します：

1. 主の回復は、主イエスを愛することの回復です。ヒラデルヒヤにおける勝利者は一の真の立場に立ち、自分自身を神の愛の中に保って主を愛し、またすべての兄弟を愛します―ユダ 20-

21節. Ⅱコリント5:14. ヨハネ12:3. ルカ7:47. Ⅰ ヨハネ3:14-16. 参照、詩第133篇。
ユダ20節しかし、愛する者たちよ、あなたがたは最も聖い信仰の上に自らを建て上げ、聖霊の中で祈りなさい.
ユダ21節自分自身を神の愛の中に保ち、わたしたちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望んで、永遠の命へと至りなさい。
Ⅱコリ 5:14 なぜなら、キリストの愛がわたしたちに押し迫っているからです. そこでこう判断しました. ひとりの方がすべての人のために死なれたからには、すべての人が死んだのです.
ヨハネ 12:3 その時マリアは、非常に高価で純粋なナルドの膏油一リトラを取って、イエスの足に塗り、自分の髪の毛で彼の足をぬぐった. するとその家は、膏油の香りで満たされた。
ルカ 7:47 こういうわけで、わたしはあなたに言う. 彼女の罪は多いが、赦されている. だから彼女は多く愛した. しかし、少ししか赦されていない者は、少ししか愛さない」。
Ⅰヨハ 3:14 わたしたちは死から命へと移っていることを知っています. なぜなら、わたしたちは兄弟たちを愛しているからです。愛さない者は死の中に住んでいます。
Ⅰヨハ 3:15 すべて自分の兄弟を憎む者は人殺しです. あなたがたが知っているように、すべて人殺しは、彼の中に永遠の命を住まわせていません。
Ⅰヨハ 3:16 彼はわたしたちのために、ご自分の命を捨ててくださいました. そのことによって、わたしたちは愛を知ったのです. ですから、わたしたちも兄弟たちのために、自分の命を捨てるべきです。
詩 133:1 見よ、何とすばらしく、何と喜ばしいことであろう. 兄弟たちが和合して住んでいる！
詩 133:2 それは、頭に注がれた尊い油が髭に、アロンの髭に流れ下り、彼の衣のすそに流れ下るようだ.
詩 133:3 また、ヘルモンの露がシオンの山々に下って来るようだ。まことに、エホバはそこに祝福を命じられた. すなわち命を永遠まで。
2. 召会の中でかしらになりたがることは、すべての事柄において主に第一位を与えることによって主をわたしたちの初めの愛とすることに相対します—Ⅲヨハネ9 節. コロサイ1:18後半。
Ⅲヨハ 9節　　わたしは召会に少しばかり書き送ったのですが、彼らの間でかしらになりたがっているデオテレペスが、わたしたちを受け入れません。
コロ 1:18　　そして御子は、召会であるからだのかしらです. 彼は初めであり、死人の中から最初に生まれた方です. それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです.
3. バイタルグループの中で、愛はまさらなければなりません。神はまずわたしたちを愛し、彼の愛をわたしたちに注入して、わたしたちの内側に愛を生み出しました。わたしたちはこの愛をもって、彼と兄弟たちを愛します—Ⅰコリント 12:31 後半. 13:4-8, 13. Ⅰヨハネ 3:14。
Ⅰコリ 12:31　　しかし、さらに大いなる賜物を、熱心に願い求めなさい。そこで、わたしはさらに、最も卓越した道をあなたがたに示しましょう。
Ⅰコリ 13:4　　愛は辛抱強く、愛は親切で、ねたみません。愛は誇ることがなく、思い上がることもありません.
Ⅰコリ 13:5　　それは無作法をしません. また自分の利益を求めません. それはいらだちません. また人の悪を数えたてません.　Ⅰコリ 13:6 それは不義のゆえに喜ぶことをせず、真理と共に喜びます.
Ⅰコリ 13:7　　それはすべてを覆い、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐え忍びます。

Ⅰコリ 13:8　　愛は決して絶えることがありません。しかし、預言であれば、それはすたれ、異言であれば、それはやみ、知識であれば、それはすたれます。
Ⅰコリ 13:13　　こういうわけで、永存するものは、信仰、希望、愛、この三つです．そして、その中で最も大いなるものは愛です。
Ⅰヨハ 3:14　　わたしたちは死から命へと移っていることを知っています．なぜなら、わたしたちは兄弟たちを愛しているからです。愛さない者は死の中に住んでいます。

ヒラデルヒヤの道は、キリストが召会を牧養する道

F. ヒラデルヒヤの道は、詩篇第 23 篇で啓示されている神の永遠のエコノミーの道、キリストが彼の天の務めにおいて召会を牧養する道であり、彼の神聖な三一の中でご自身をわたしたちの存在の中へと分与する道です。それは、わたしたちが神・人の生活をして、神聖な啓示の最高峰に到達するためです。

詩 23:1　エホバはわたしの牧者であって、わたしには欠けるものがありません。
詩 23:2　彼はわたしを緑の牧場に伏させ、憩いの水辺にわたしを伴われます。
詩 23:3　彼はわたしの魂を回復し、彼の御名のために、わたしを義の途に導かれます。
詩 23:4　たとえ、死の影の谷を歩いても、わたしは災いを恐れません．あなたがわたしと共におられるからです．あなたの棒とあなたの竿、それらがわたしを慰めます。
詩 23:5　あなたはわたしの前にわたしの敵の前で、宴席を設け、わたしの頭に油を塗ってくださいます．わたしの杯は満ちあふれています。
詩 23:6　わたしの命の日の限り、必ず良きものと慈愛がわたしを追いかけて来ます．わたしは日々いつまでもエホバの家に住みます。

ヒラデルヒヤの道を取る

柱となる	啓3:12　勝利を得る者を、わたしの神の宮の柱にしよう	真理で構成される
この務めを保つ	啓3:11　自分の持っているものをしっかりと保っていなさい。	新約の唯一の務め
神となる	啓3:12　わたしはまた彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち天から出て、わたしの神から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記そう。	神聖な啓示の最高峰
主の言を守り、主の名を呼ぶ	啓3:8　少しばかりの力を持ち、主の言を守り、主の名を否まなかった。	神・人の生活
兄弟愛	啓3:7ヒラデルヒヤに在る召会の使者に書き送りなさい。	神にしたがって牧養する

発光体のように輝き、命の言を提供する

Ⅱ. 暗く腐敗した世のただ中で、わたしたちの機能は発光体のように輝き、命の言を提供することです—ピリピ 2:12-16：

ピリピ 2:12　　そういうわけで、わたしの愛する人たちよ、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、わたしがいない今はなおさら、恐れとおののきをもって、あなたがた自身の救いを成し遂げなさい．
ピリピ 2:13　　なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです。

ピリピ 2:14　　すべての事を、つぶやいたり議論したりすることなく行ないなさい.
ピリピ 2:15　　それは、あなたがたが、曲がったよこしまな世代のただ中で、責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなり、彼らの間で世にあって発光体のように輝き、
ピリピ 2:16　　命の言を提供するためです. こうして、わたしが無駄に走ったのでも無駄に労苦したのでもないことを、キリストの日に誇ることができるのです。

信者は発光体のように命の言を提供する

A. キリストは太陽であり、召会(月)と信者(惑星)を持っており、彼らは命の言を提供することによってキリストを反映します。命の言を提供することは、キリストを生かし出すことによってそれを適用し、提示し、世の人にささげることです—使徒 5:20。

使徒 5:20　「行って宮の中に立ち、民衆にこの命の言葉をすべて語りなさい」。

B-D: わたしたちの内にある四方面の神聖な供給

B. わたしたちの内で活動する神は(ピリピ 2:13)、供給する霊(1:19)、復活の力(3:10)、力づけるキリストです(4:13)。発光体のように輝くことは(2:15)、キリストを大きく表現することであり(1:20)、命の言を提供することは(2:16)、キリストを生きることです(1:21 前半)。

ピリピ 1:19 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことがわたしにとって救いとなることを知っているからです.
ピリピ 3:10 キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、
ピリピ 4:13 わたしは、わたしを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです。
ピリピ 1:20 そこで、わたしの切なる期待と希望は、わたしがどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、わたしの体において大きく表現されることです。
ピリピ 1:21 なぜなら、わたしにとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。

C. わたしたちは、キリストを復活の力、内で活動する神、わたしたちを力づける方として認識し、世にあって発光体のように輝いて、彼を大きく表現することを渇望しなければなりません—3:10. 2:13. 4:13. 1:20。

D. ペテロの肉体を獄から解放した力は、神の力でしたが、パウロが獄の中にとどまっていた時に経験した力は、復活の力でした—使徒 5:18-20. ピリピ 1:19. 3:10:

使徒 5:18　　彼らは使徒たちに手をかけて、公共の留置場に入れた。
使徒 5:19　　ところが、主の御使いは夜中に獄の戸を開き、彼らを導き出して言った、
使徒 5:20　　「行って宮の中に立ち、民衆にこの命の言葉をすべて語りなさい」。

1. 神の新約エコノミーにおいて、神の意図は外側の奇跡ではなく、内側の奇跡です。内側の驚くべきことは、キリストがその霊としてわたしたちの中へと造り込まれて、わたしたちの救いとなり、わたしたちの弱さの中で内側でわたしたちを維持し、わたしたちを強め、わたしたちを力づけて、わたしたちにキリストを輝かし出させるということです—Ⅱコリント 12:7-10。

Ⅱコリ 12:7　そして、その啓示があまりにもすばらしいために、わたしが高ぶり過ぎないようにと、肉体に一つのとげが与えられました. それは、わたしが高ぶり過ぎないように、わたしを打つためのサタンの使いなのです。
Ⅱコリ 12:8　これについてわたしは、それが取り去られるようにと、三度も主に懇願しました。
Ⅱコリ 12:9　すると彼はわたしに言われました、「わたしの恵みは、あなたに対して十分である. わたしの力は、弱さにおいて完全に現れる」。ですから、わたしはむしろ自

分の弱さを、大いに喜んで誇りましょう．それはキリストの力が、わたしの上に幕屋を張るためです。

Ⅱコリ 12:10 こういうわけで、わたしはキリストのために、弱さの中で、侮辱の中で、貧困の中で、迫害と苦悩の中で、十分に喜んでいます．なぜなら、わたしは弱い時にこそ、強いからです。

2. 力づけるキリストは、わたしたちがどのような環境や境遇においてもキリストを輝かし出し、彼を表現するための秘訣です。この秘訣の秘訣は、わたしたちの霊の中のイエス・キリストのすべてを含む霊であり、わたしたちの日ごと、瞬間ごとの救いです―ピリピ 1:19. 4:23。

ピリピ 1:19　というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことがわたしにとって救いとなることを知っているからです．

ピリピ 4:23　主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にありますように。

二方面の妨げ――つぶやきと議論

＊わたしたちを通して輝いて栄光を現すことができないようにする妨げ

E. つぶやきと議論はいずれも、わたしたちがキリストを経験し享受することを妨げ、彼がわたしたちの中で、またわたしたちを通して輝いて栄光を現すことができないようにします―2:14：

ピリピ 2:14　すべての事を、つぶやいたり議論したりすることなく行ないなさい．

1. つぶやきは、不満を抱いて陰でぶつぶつ言ったり愚痴をこぼしたりすることであり、あら探しをすること、陰で議論すること、不満や不平を言うことを含んでいます。「また彼らのある者がつぶやいて、滅ぼす者によって滅ぼされたように、つぶやいてはいけません」―Ⅰコリント 10:10。
2. 議論は、疑念や疑いを帯びた論争や討論です。それは、疑問視すること、疑うこと、また推論し結論を下すことを含んでいます―参照、Ⅰテモテ 1:3-6. 6:3-4. Ⅱコリント 11:2-3。

Ⅰテモ 1:3 わたしがマケドニアへ出発する時あなたに勧めたように、あなたはエペソにとどまっていて、ある人たちが異なる事を教えたり、

Ⅰテモ 1:4 作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい．そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミー［経綸］ではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。

Ⅰテモ 1:5 しかし、この命令の目的は、純粋な心と、正しい良心と、偽りのない信仰とから出て来る愛です．

Ⅰテモ 1:6 ある人たちは、その目標からそれて、空論に迷って行き、

Ⅰテモ 6:3 もし異なったことを教えて、健康な言であるわたしたちの主イエス・キリストの言にも、敬虔に合う教えにも同意しない者がいるなら、

Ⅰテモ 6:4 彼は高ぶりによって盲目になっており、何も理解せず、論議と言い争いに病みつきになっているのです．そこから、ねたみ、争い、そしり、邪悪なさい疑心が生じ、

Ⅱコリ 11:2 わたしは神のねたみをもって、あなたがたをねたんでいます．なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです。

Ⅱコリ 11:3 ところが、わたしが恐れるのは、蛇が悪巧みによってエバを欺いたように、あなたがたの思いが腐敗させられて、キリストに対する単純さと純潔を失いはしないかということです。

3. 反逆的でののしる言葉は、議論から生じます。主のしもべは議論から救われ、主によって照らされて「祝福された盲目」を持ち、命の領域の中で、光の権威の下で、キリストの頭首権の下で生きなければならず、正しいか間違っているかの領域の中で、暗やみの権威の下で生きてはなりません―使徒 22:10. コロサイ 1:12-13. ローマ 9:20-21. 11:34. 参照、使徒 16:25。

使徒 22:10　そこでわたしは、『主よ、わたしは何をすべきでしょうか？』と言いました。すると、主はわたしに言われました、『立ち上がって、ダマスコへ行きなさい．そうすれば、あなたが行なうように定められているすべての事が、そこであなたに告げられる』。

コロ 1:12　光の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるようにと、あなたがたを資格づけてくださった御父に、感謝をささげるように.
コロ 1:13　御父はわたしたちを暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました.
ローマ 9:20　しかし人よ、あなたは何者なので、神に口答えするのですか？　形造られたものが、それを形造った者に向かって、「なぜあなたは、わたしをこのように造ったのか？」と言えるでしょうか？
ローマ 9:21　それとも陶器師は土くれに対して、同じかたまりから一つを尊い器に、もう一つを卑しい器に、造る権威を持っていないのですか？
ローマ 11:34 だれが主の思いを知ったでしょうか、だれが彼の参謀になったでしょうか？
使徒 16:25　真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りながら、神に賛美の詩歌を歌っていた. 囚人たちは彼らに聞き入っていた。

4. 人の反逆は、言葉、思想、議論の中に現れます。思想と議論は、神の敵であるサタンの要塞であり、神に不従順な者たちの思いの中にあります。霊的戦いを通して議論は破壊され、あらゆる思想はとりこにされてキリストに従わなければなりません―Ⅱコリント 10:3-5。

Ⅱコリ 10:3　なぜなら、わたしたちは肉の中で歩いてはいても、肉にしたがって戦っているのではないからです.
Ⅱコリ 10:4　わたしたちの戦いの武器は、肉のものではなく、神の御前に力があって、要塞をも破壊し、
Ⅱコリ 10:5　神の知識に逆らい立っている議論や、あらゆる高ぶりを破壊し、あらゆる思想をとりこにして、キリストに対して従順にならせます。５．レビ記第 18 章から第 22 章において、主は彼の民に何かを行なうように命じた時はいつでも、命令の間に「わたしはエホバである」という言葉を挿入しました。そこには「なぜなら」という言葉さえありません。「わたしはエホバである」がその理由です。

つぶやいたり議論したりすることから救われる道

F. つぶやいたり議論したりすることから救われて、キリストを生き、キリストの発光体としてキリストを輝かし出す道は、わたしたちの内側で動機づける力としての彼との接触の中にとどまることです。それは彼を命の言として享受し、祈りの中で彼との交わりの中にとどまり、すばらしい霊としての三一の神によって、わたしたちのすばらしい霊の中で、歓喜し、感謝し、賛美する生活をし、キリストに栄光のからだを得ていただくことによります―ピリピ 1:19. 2:13. 3:10. 4:13. 2:15. 4:6.　Ⅰテサロニケ 5:16-20。

ピリピ 1:19　というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことがわたしにとって救いとなることを知っているからです.
ピリピ 2:13　なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです。
ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、
ピリピ 4:13　わたしは、わたしを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです。
ピリピ 2:15　それは、あなたがたが、曲がったよこしまな世代のただ中で、責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなり、彼らの間で世にあって発光体のように輝き、
ピリピ 4:6　何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい.
Ⅰテサ 5:16　いつも喜んでいなさい.
Ⅰテサ 5:17　絶えず祈りなさい.
Ⅰテサ 5:18　あらゆることで感謝しなさい. なぜなら、これがあなたがたに対する、キリスト・イエスにある神のみこころだからです。
Ⅰテサ 5:19　その霊を消してはいけません.
Ⅰテサ 5:20　預言を軽んじてはいけません.

結びの言葉

ヒラデルヒヤの道を取り、成就されて柱となる

神聖な供給を経験し、発光体となる
